

自 己 評 価 表

(様式 1)

愛媛県立伊予農業高等学校  
学校番号 (28)

<p>教育方針</p>	<p>徳・知・体の調和のとれた人格の完成を目指し、民主的な国家及び国際社会の有為な形成者となるにふさわしい人間力を培い、豊かな人間性や自ら学び自ら考えるなど生きる力を備えた心身ともに健全な生徒の育成を期する。</p>	<p>重点目標</p>	<p>自信と誇りを育む農業教育の推進 — 生徒が輝き 地域が輝き 未来が輝くために — 1 生徒、保護者、地域が三位一体となって特色ある学校づくりを目指します。 2 授業改善を通して、学習習慣の定着と基礎学力の向上、学びの進化を図ります。 3 基本的な生活習慣の確立及び規範意識の向上を図り、自律する力を育成します。 4 キャリア教育の充実により、社会人基礎力を身に付けさせ、地域の担い手を育成します。 5 人権尊重の視点に立ち、お互いを認め合う心を育成します。 6 あらゆる教育活動を通じて、健やかな心と体を育成します。</p>
-------------	--	-------------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
<p>地保 域護 と者 の・ 連 携</p>	<p>PTA活動の活性化</p>	<p>・PTA役員の理事会への参加率80%以上 A:80%以上 B:79~70% C:69~60% D:59~50% E:49%以下</p>	<p>B</p>	<p>・年間行事予定に沿って開催したが、仕事の都合や季節性の感染症等による急な欠席があり目標達成ができなかった。</p>	<p>・2月に実施した第3回理事会において開催日や時間など、役員が集まりやすい日程の検討を協議した。</p>
	<p>保護者・地域への情報発信の充実</p>	<p>・ホームページの閲覧者数 1日平均400名以上 A:400名以上 B:399~300名 C:299~200名 D:199~100名 E:99名以下</p>	<p>A</p>	<p>・毎日の更新され、平均426名と目標を達成することができた。</p>	<p>・掲載内容の精選、各学科のバランスを考えた掲載、中学生や地域への貢献などを紹介し、多くの方に学校を理解してもらう機会をつくるよう努めたい。</p>
<p>学 習 指 導</p>	<p>家庭学習の充実</p>	<p>・1日平均家庭学習時間 調査発表中120分以上 A:120分以上 B:119~96分 C:95~72分 D:71~60分 E:59分以下 ・1日平均家庭学習時間 調査中180分以上 A:180分以上 B:179~144分 C:143~108分 D:107~90分 E:89分以下</p>	<p>B</p>	<p>・調査発表中は103.9分(昨年117.4分) ・調査中は120.4分(昨年144.2分)</p>	<p>・課題提供や調査の出題方法等を工夫するなど、計画的に学習に取り組む姿勢の育成に努める。</p>
	<p>満足感・達成感を味わえる授業の展開</p>	<p>・1か年皆勤者数60%以上 A:60%以上 B:59~50% C:49~40% D:39~30% E:29%以下 ・タブレットなどICT機器を活用したアクティブ・ラーニング100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下</p>	<p>C</p>	<p>・1か年皆勤者数122名(24.3%) ・タブレットなどICT機器を活用したアクティブ・ラーニング80.0%(学校評価:教科の精選・創意工夫、分かる授業の推進4.0ポイント中3.2ポイントで評価)</p>	<p>・生徒指導課や特別活動課と連携し、自己肯定感を育む学校行事の工夫を行う。また、教育支援課と連携し、生徒に寄り添った指導を行うなど生徒の居場所づくりに努める。 ・1人1台端末などICT機器を活用したアクティブ・ラーニングを推奨し、分かる授業による学力向上を図るとともに、個に応じた指導の工夫・強化を継続し、成績優秀者100名以上を目指す。</p>
	<p>成績優秀者の増加</p>	<p>・成績優秀者100人以上 A:100人以上 B:99~80人 C:79~60人 D:59~50人 E:49人以下</p>	<p>A</p>	<p>・成績優秀者120人(昨年度は93人)</p>	
<p>生 徒 指 導</p>	<p>規範意識の向上と個に応じた指導の充実</p>	<p>・特別指導生徒0名 A:0人 B:1~3人 C:4~6人 D:7~10人 E:11人以上</p>	<p>D</p>	<p>・規範意識を持たせる指導を実施したが、7名の特別指導生徒が出た。</p>	<p>・規範意識を高く持たせる指導を徹底し、我慢する心の育成を図る。</p>
	<p>交通安全指導の充実</p>	<p>・交通事故・違反0件 A:0件 B:1~3件 C:4~6件 D:7~10件 E:11件以上</p>	<p>E</p>	<p>・命を守る教育やマナーやルールについて指導したが20件の交通事故が発生した。</p>	<p>・交通マナーやルールについて指導を行い、命を守る行動ができる生徒の育成に努める。</p>
<p>進 路 指 導</p>	<p>自己実現の達成</p>	<p>・第一希望校への入学100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下 ・第一希望職種への就職100% A:100% B:99~80% C:79~60% D:59~50% E:49%以下</p>	<p>B</p>	<p>・第一希望校への入学(合格)96.4% ・第一希望職種への就職(内定)96.7%</p>	<p>・国立大学志望者に対する指導の充実(情報提供及び指導計画) ・職業適性理解の指導及び就職活動支援の充実</p>
	<p>生き方へのこだわり</p>	<p>・農業関連分野への進学者55%以上 A:55%以上 B:54~45% C:44~35% D:34~30% E:29%以下 ・農業関連産業への就職率55%以上 A:55%以上 B:54~45% C:44~35% D:34~30% E:29%以下</p>	<p>A</p>	<p>・関連分野への進学率(合格)62.2% ・関連産業への就職率(内定)57.1%</p>	<p>・各学年の進路ガイダンスの工夫 ・資格検定取得への取組促進(特用林産科) ・進路テストへの取組支援(進路選択に対する意識付け) ・職場体験や見学の充実(学科との連携) ・進路資料、データの共有</p>

特別活動	部活動の活性化による体力・気力の充実及び地域に貢献できる人物の育成	・県総体出場部数8部以上 A: 8部以上 B: 7部 C: 6部 D: 5部 E: 4部以下 ・高文祭参加部数3部以上 A: 3部以上 C: 2部 D: 1部 E: 参加部無し	B	・県総体出場14部(男子7部・女子7部) ・高文祭参加部数2部(美術部・写真部) ・運動部の活動状況は良い状況である。文化部は今後の活動に期待したい。	・生徒会と共に部活動の充実を図り、何事も意欲的に活動できる生徒の育成を目指したい。 ・ボランティア活動により積極的に取り組ませることで、地域の活性化に貢献させたい。
読書指導	図書館利用の活性化	・生徒の年間読書冊数平均10冊以上 A: 10.0冊以上 B: 9.9~9.5冊 C: 9.4~8.0冊 D: 7.9~7.5冊 E: 7.4冊以下	A	・年間読書冊数については、15.5冊で目標を達成している。 ・「図書館報」、「ライブラリー・ニュース」については、計画通り発行しており目標を達成している。	・図書委員を中心に朝読書やビブリオバトルを活性化させ、より読書に対する意識付けを啓発したい。また、「図書館報」や「ライブラリー・ニュース」の発行を通じて、生徒が親しみやすい図書館の運営を心掛けたい。
情報教育	情報モラルの充実と情報モラル教育の徹底及びセキュリティの保守管理	・情報の機密性、完全性、可用性維持100% A: 100% B: 99~80% C: 79~60% D: 59~50% E: 49%以下	A	・情報の機密性、完全性、可用性維持100% ・学習系NASの各課の第三、第四分類データの校務系への移行100%	・情報セキュリティに関する研修を充実させ、校務系サーバーの利用促進を行い、個々のセキュリティ意識の向上をより一層図る。
	ホームページの適宜更新・管理	・ホームページの管理・更新週平均5回以上 A: 5回以上 B: 4回 C: 3回 D: 2回 E: 1回以下	A	・ホームページの管理・更新 毎日実施	・各科、各課、生徒会、農業クラブ、家庭クラブ、部活動等連携を図り、校外への適切な情報発信を充実させる。
厚生管理	快適で心豊かな学校生活	・衛生委員会の開催年間12回以上 A: 12回以上 B: 11~10回 C: 9~8回 D: 7~6回 E: 5回以下	C	・月に1回以上の開催を目指したが、構成員の都合等で開催できないことがあった。	・運営委員会と同時開催で極力、月1回実施し衛生環境の改善に努めていきたい。
	安心・安全な生活に対する意識の向上	・避難訓練の実施年3回以上 A: 3回以上 C: 2回 E: 1回以下 ・管理責任者による定期安全点検の実施年2回以上 A: 2回以上 C: 1回 E: 0回	A	・いずれも目標通り実施できた。昨年度の防災教育指定研究の成果が表れている。	・災害に対する意識をさらに高めていけるように全校での予告無しの訓練など実施形態を工夫していきたい。
人権・同和教育	互いの人権を尊重し、協力しながら活動できる集団の育成	・集団の一員として協力し合って活動できる生徒100% A: 100% B: 99~80% C: 79~60% D: 59~50% E: 49%以下	B	・集団の一員として協力し合って活動できる生徒 96%	・学校生活のすべての場が人権教育の機会であることを認識し、生徒が存在を認め合い、尊重し合う学習集団を育成する。
	人権問題に対して自ら行動できる実践力の育成	・差別を許さない、いじめを制止できる生徒100% A: 100% B: 99~80% C: 79~60% D: 59~50% E: 49%以下	C	・差別を許さない、いじめを制止できる生徒 78%	・いじめを制止する意識を高めるとともに、生徒自らが行動する場面を増やすことで実践力を育成する。
教育相談	登校支援の充実	・中学校との引継ぎ及び現担任との情報交換100%対応 A: 100% B: 99~80% C: 79~60% D: 59~50% E: 49%以下	A	・各中学校に対して入学生徒についての聞き取りを行うとともに、各学級担任とも折に触れ情報交換を行い、必要に応じてスクールライフアドバイザーへの相談に繋げた。(8名中希望者5名カウンセリング)	・適応障害や特性のある生徒の二次障害的な原因での不登校など、不登校生徒の増加とともにその理由も多岐に渡り、より細やかな実態把握や関係機関との連携、個に応じた対応が求められる。
	特別支援教育における合理的配慮の充実	・生徒の実態把握と支援100% A: 100% B: 99~80% C: 79~60% D: 59~50% E: 49%以下	A	・必要に応じて学級担任、教科担任と情報交換を行い、個別の教育指導計画の作成による情報共有や支援の手立ての明確化を行ったり、授業時において支援員を配置するなどの措置を取ったりした。	・学級担任による生徒の実態把握を中心に、家庭、中学校、関係機関(各市の教育支援センター、医療機関など)との相談・連絡・連携の強化を図り、担任・学年主任・教育相談課とのチームで対応する組織作りと実践を、継続して行っていく必要がある。
農業教育	農業クラブ及び資格取得の充実	・農業クラブ各種発表県大会・各種競技会出場者全員入賞 A: 100% B: 99~80% C: 79~60% D: 59~50% E: 49%以下	D	・50%の結果となり、指導力不足であった。	・常に「伊予農の代表は入賞する」という意識改革を行っていく。
	教職員の自己研修及び専門技術の向上	・相互授業参観・研究授業への参加年3回以上 A: 3回以上 B: 2~3回 C: 1~2回 D: 0~1回 E: 0回	A	・3回という結果であった。授業研究会、参観授業などで研修を深めることができた。	・数値的には研修できているが、農業クラブ活動の成果を考えると、回数だけの結果とも考えられるので目標を変更したい。
	農業教育環境の整備	・農場及び特別教室の整備及び点検年3回以上 A: 3回以上 C: 2回 E: 1回以下	A	・3.46回であった。それぞれの農場は整備、整理整頓されていると感じる。	・授業環境を整える意味でも継続したい。
	本校の活動や農産物の魅力発信	・各学科、1か月2件以上紹介記事を載せる。(学科合計) A: 12回以上 B: 11回~10回 C: 9回~8回 D: 7回~6回 E: 5回以下	A	・1月10日集計で、伊予農日記(HP)生工66回、園流146回、環開23回、食化40回、生活136回、特林10回。新聞や広報紙・雑誌でも取り上げられ、魅力発信できたと考ええる。	・情報発信は必要と考えるので継続したい。

魅力化	魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>志願者倍率1.00倍以上 A:1.00倍以上 B:0.99~0.80倍 C:0.79~0.60倍 D:0.59~0.50倍 E:0.49倍以下</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業祭前日に中学生体験学習会を開催。農業祭以降の販売物にQRコードを貼り(5000枚以上)、本校HPへの呼び込みを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気が付いたこと、できることはすべて行う。</li> </ul>
業務改善	適切な業務時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。</li> <li>業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営委員会、職員朝礼の削減を行い、働き方改革を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更に、学校行事の見直し、会議の効率化を進める。</li> </ul>
	職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座や健康相談を定期的実施し、教職員の疲労や心理的負担の軽減を図る。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職面接を行い、教職員の健康状態、メンタル状態を把握することに努力したが、ストレスチェック度合いが県の平均より少し高く、ストレス、疲労感等の軽減に繋げることができなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職面接や出退勤記録表等を利用して、教職員個々へのサポート体制を更に充実させたい。</li> </ul>